

## 受入検査室におけるトランスPCB油のオイルパン内への漏出

日時	平成18年10月30日(月)14時30分頃
概要	2階受入検査室においてトランスの外装部品撤去作業中PCB油がオイルパン内に漏出した。
内容	受入品であるトランスの外装部品撤去作業中、外装部品であるリード線をとめているナットを緩めるべきところを、勘違いによりフランジをとめているボルトを緩めてしまったため、フランジ部分よりPCB油約70Lがオイルパン(容量:120L)内に漏出した。レベル3対応の防護服、防護マスク等を装着して漏出したPCB油はポリタンク等に回収した(14時35分~16時15分)。
影響	漏出したPCB油は、オイルパン内にとどまり、室内への漏出はなかった。作業員の罹災、PCBへの曝露はなかった。 トランス受入検査室の作業環境中のPCB濃度(オフラインサンプリング)は、 $31.7\mu\text{g}/\text{m}^3$ (15時30分)及び測定下限値( $1.35\mu\text{g}/\text{m}^3$ )未満(20時40分)。(労働安全衛生法に基づく作業環境基準: $100\mu\text{g}/\text{m}^3$ 。)なお、排気(オンラインモニタリング)の最大値は、 $3.8\mu\text{g}/\text{m}^3$ 。(協定に基づく排出管理目標値は $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 。)
原因	現物を前にして具体的な方法を示さず、慣れない作業者に一人で作業をさせた。また、特殊解体品に対して熟練者と共同作業をさせなかった。
対策	今回のトラブル内容と原因を作業者に説明し、対策を全員に徹底させる。指示者は、現物を前にして具体的な指示を徹底する。初めて担当する作業者には必ず熟練者を付けOJTを行う。 受入検査室でPCB油が漏洩した場合を想定した訓練を実施した。
備考	10月30日 豊田市環境部廃棄物対策課に電話連絡にて一報 10月31日 豊田市環境部廃棄物対策課・環境保全課に報告